

特集

大学を「ひらく」

その1 重要文化財を歩く。

その2 キャンパスを歩く。



習学寮内での寮歌練習風景

寮歌

旧制高等学校には生徒のための寮が設けられ、入寮生の結束や親交を深めるため寮歌が作られるようになった。

五高の寮歌として最も有名なものは「武夫原頭に草萌えて…」の歌い出しで知られている1905(明治38)年の「東京帝国大学在学先輩寄贈之歌」である。五高出身の恵利武^{えりたけし}が東京帝国大学在学中に、同窓の数名と共に母校に寮歌を贈りたいと思立って作詞し、一高出身の「作曲の天才」に曲を依頼し完成させた。

その後、毎年11月に歌詞が募集され、多くの寮歌が誕生した。作曲は、東京音楽学校や熊本師範学校の音楽教授に依頼された時期もあるが、作曲に秀でた五高生による曲も増えていった。作曲者には、後に「日本初の本格的ジャズプレーヤー」と言われた紙恭輔^{かみきょうすけ}や、開業医ながら軍歌や市歌、校歌などの作曲を手掛けた金堀伸夫などが名を連ねている。

寮歌の隆盛により、部歌や式歌も様々に作られるようになり、高等学校以外の教育機関へも波及していくことになった。

第二次大戦後、旧制の教育機関が廃止された後も、各地で寮歌祭が盛んに行われ、寮歌を由来とする「北帰行」や「琵琶湖周航の歌」などは今も広く親しまれている。

文 藤本秀子(五高記念館)



※永浦干潟（上天草市松島町永浦島）のハクセンシオマネキ

未来へつなぐ。
— 熊本大学とSDGs —



熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センターが所管する上天草市の「合津マリンステーション」。有明海と八代海が交わるこの地には、国内でも特異な固有の生物が生息しており、多様な海洋生物の生態を研究する研究者が常駐している。沿岸生物の生態・行動・水産学が専門の逸見泰久教授もその一人。日本一の群生地といわれる永浦干潟のハクセンシオマネキの生態研究の中で、シオマネキ類の求愛行動を明らかにした。現在は、沿岸域の環境問題に関する研究にも携わり、国などへの提言も行っている。

くまもと水循環・減災研究教育センター 沿岸環境部門

逸見 泰久 教授
HENMI Yasuhisa

CONTENTS

- 03 特集 大学を「ひらく」
その1 重要文化財を歩く。
その2 キャンパスを歩く。
- 15 研究室探訪 機械工学の技術で作ったデバイスで
医療・健康分野に貢献
工学部機械数理工学科バイオエンジニアリング研究室
中島 雄太 准教授
- 17 卒業生ジャーナル
- 19 KUMADAI TOPICS
- 22 熊本大学基金よりお知らせ

表紙 / 【原画】大学院教育学研究科 松永 拓己 教授
天草の海とイルカと研究実習船

熊本大学広報誌 熊大通信 vol.85

*皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

【発行】 国立大学法人熊本大学
〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1
Tel.096-342-3119 Fax.096-342-3110
(総務部総務課広報戦略室)
sos-koho@jimmu.kumamoto-u.ac.jp

【編集】 熊大通信編集委員会
茂木 俊伸 / 委員長 大学院人文社会科学研究所 (文学系)
安高 啓明 / 大学院人文社会科学研究所 (文学系)
松永 拓己 / 大学院教育学研究科
松永詩乃美 / 大学院人文社会科学研究所 (法学系)
原岡 喜重 / 大学院先端科学研究所 (理学系)
黒田 雅利 / 大学院先端科学研究所 (工学系)
坂梨 京子 / 大学院生命科学研究所 (保健学系)
首藤 剛 / 大学院生命科学研究所 (薬学系)
濱洲 里美 / 総務部総務課広報戦略室

【制作】 株式会社 談

※取材にあたっては、基本的な感染防止対策をとった上で実施し、撮影時のみマスクを外しております。

※記載の職名、学年等は取材時のものです。



五高の生徒の姿を象徴する「龍南健児」の像



赤門と五高記念館をつなぐ「サインカーブ」。他の旧制高校跡地で当時の姿を残すところはほとんどありません



「赤門」と呼ばれる五高の表門。重要文化財の一つです

当時の姿そのままであること。加えて、本学は、長きにわたり研究されてきた永青文庫資料や、水俣病などの資料も有しています。それら「本物」に勝る迫力はありません。ミュージアムを通して熊大生自身にも、自らが学ぶ足元を知り、学業や思想、研究姿勢の礎を築いてもらうこと。そして、地域をはじめ学外の方も気軽に訪れていただける、開かれた大学になればと思います。

大学は教育の場というだけでなく、そこで行われている研究は社会の今、そして未来にも深く関わり、私たちの生活や精神性に直結しています。恐竜から最新の超合金研究まで、実に幅広い研究が行われていることも知っていただくきっかけとなるミュージアムにしていきたいです。

特集
その1

大学を「ひらく」

重要文化財を

歩く。

熊本大学では「キャンパスミュージアム構想」として、大学が保有する文化財などを多くの方に見ていただけるように整備する計画を進めています。

その大きな柱となる五高記念館などの重要文化財は、平成28年の熊本地震後の復旧工事が行われていましたが、令和4年4月に一般公開が始まりました。今回は「重要文化財を歩く。」と題し、学生広報スタッフと共に、学内のスポットをご紹介します。



私たちが紹介します！

熊本大学学生広報スタッフ
文学部コミュニケーション情報学科3年
蔵座晴香 / 鈴木理枝 / 平川若奈



©2010 熊本県くまモン

復旧工事の完了を祝い、
令和4年3月23日に関係者参列のもと
オープニングセレモニーを開催しました



本学は、竣工から133年を迎える五高記念館や化学実験場などの重要文化財を有しています。それら歴史的建造物をゆるやかにつないだ「博物館」としての組織を構築するのが、熊本大学のキャンパスミュージアム構想です。建造物に加え、大学が一次資料として収蔵・管理・研究を行っている文化的財産も、学内外からの訪問者に公開していく予定です。

ミュージアムの目的は、研究と教育、地域貢献の3つです。一次資料は、一般的な博物館においても、新しい研究を生み出すためには欠かせません。教育面では、本学の学芸員養成課程からの要請にも応えていきます。さらに地域貢献として、熊本の文化財や市井にある歴史資料等の記録や保全も担っていきます。大規模災害が起こっても貴重な文化財が失われないよう、熊本大学の技術や知見、機器を防災や文化財レスキューに活かします。

五高記念館や化学実験場のすばらしさは、



熊本大学 副学長
キャンパスミュージアム担当
小畑 弘己 教授
OBATA Hiroki

▼貴重な建造物や歴史資料を公開
学外にも「開かれた」大学へ



1カ所ずつ違う！
ひさしの飾り

出入口のひさしには飾りが彫られています。なんと、場所によって少しずつ異なる模様になっています。



英語教師マーター先生の
ピアノ

英語教師ジェームズ・マーター先生愛用のピアノ。ピアノを弾く先生の周りに生徒が集まったこともあるかも。



屋根裏に設置されていた
棟札

五高の建設に携わった人々の名前が書かれた棟札。当時の技術を結集した建築物だったことがわかります。



五高生気分が味わえる

復原教室

五高時代の机が並ぶ教室。実際に座ることもできます。

机にはインク壺とペンを置く溝が！

タイムトリップ気分が味わえる場所がいっぱい！



▼歴史の中にも発見が。今につながる五高の歴史を体感
平成28年の熊本地震で大きな被害を受けた五高記念館。二元の姿を維持しながら、地震に強い構造にしていくなかで、復旧工事は非常に難しいものでした。と五高記念館長の伊東龍一教授は話します。それでも、漆喰壁の中から設計図にはない構造が現れたり、当初階段教室として作られた跡が見つかるなど、新たな発見もありました。そこで、一部の壁はれんが壁のまま保存。創建からの構造が感じられる展示をメインに、一般公開を再開しました。見たことがない人はもちろん、一度来たことがあるという方にも楽しめる様々な展示が、この後も企画されています。

ここが見どころ

階段教室の痕跡



復旧工事中に発見された階段教室の墨付け跡(斜めの線)。創建当時は階段教室として建設し、その後、今の平面教室に改修されたという建物の歴史がわかります。展示室で見られます。



五高記念館長 伊東 龍一 教授
ITO Ryuichi

五高記念館

五高の文化と建築の歴史を学ぼう



赤れんがの建物が印象的な五高記念館はキャンパスミュージアム構想の核となる施設です。復旧工事後、創建当時の様子を伝える新たな発見もありました。歴史を感じさせる收藏品や復旧工事で見えた壁の姿など、興味深い展示が見られます！

DATA

開館時間
10:00～16:00
(入館は15:30まで)
休館
火曜・年末年始
入館料
無料

熊本大学五高記念館のウェブサイトはこちら



創建当時の歴史が見える

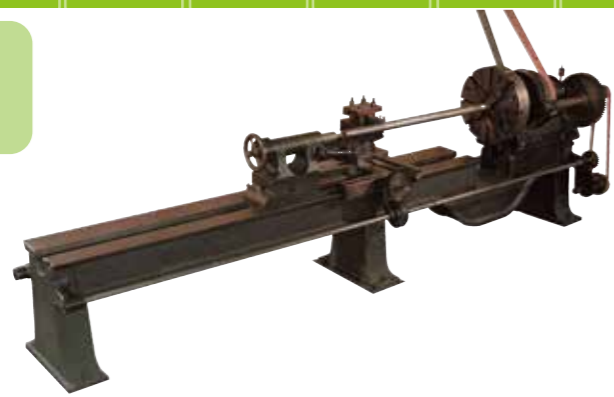
展示室

既存の黒板の裏から出てきた創建当初の黒板や、随所に施された設計の工夫などが見えるように展示された教室。漆喰塗りの段階や改修の歴史などもわかります。



建物の歴史が見えるってすごい！

本当に大きいのに
細かい調整も
可能だそうです！



明治の最先端！

巨大な15尺旋盤

機械の回転軸など円盤状の金属棒を加工するのが旋盤。15尺(約4.5m)の長い金属が加工できるこの機械は当時の最先端の機械でした。

日本の製造技術がわかる！

立削盤

溝を削るなどの加工に使われる機械。多くの機械が海外製品だった時代、日本企業が作ったもので、機能性の高さがわかります。



どうやって
使うんですか？



刃が自動的に
上下して金属を
削っていくんですよ

今回の復旧工事で
ボイラーから
煙突までをつなぐ
れんがの煙道が
見つかりました！



熊本高等工業学校で
作られた

実習用 旋盤

木型から組み立て、調整まで、この実習工場で作られた旋盤。実習の中で実際に機械を製造することもあり、広島高等工業学校(現広島大学工学部)の創設の際には多くの機械を製作したそうです。



ベルトで伝える動力が いろいろな機械を動かす！

機械実験工場の機械は、ボイラー室と蒸気機関室で起こした動力を天井のシャフトとベルトで伝えて稼働していました。今はモーターを使っていますが、同じ仕組みで機械を動かしています。

機械が動く！他にはない 動態保存の工作機械

本資料館の機械は12台が動作するように修復されており、機械遺産に認定されています。実際に金属などを加工する様子が見られるのは、ものづくりの歴史を知る上でも非常に貴重。工夫されたが故にユニークな機械の動きにも注目してください。



世界最高精度の歯車研削仕上げで知られた歯車研削盤

ここが
見どころ



熊本大学技術部
技術専門員 倉田 大
KURATA Masaru



まるで工場みたい！
動きも面白い！



工学部 研究資料館

見るだけじゃない！
日本の近代化を支えた動く機械たち



黒髪南キャンパスにある赤れんがの建物が
工学部研究資料館です。
機械実験工場として活用されてきた建物の中には、
重要文化財にも指定されている11台を含む
工作機械が、稼働する状態で展示されています。

▼重工業に特化した教育で
日本の近代化を支えた工場

DATA

開館日
毎月第3木曜
公開時間
13:00 ~ 16:00
入館料
無料

熊本大学工学部
研究資料館の
ウェブサイトはこちら



工学部研究資料館は、旧熊本高等工業学校の機械実験工場として建てられたものです。各地の高等工業学校では地域の要求に合わせた分野の工業教育を行っており、熊本では全国的にも稀な重工業に特化した人材を育成していました。学生は実際の機械を使いながら学び、日本の近代化を支える人材として旅立っていきました。天井が高い建物だったこともあり、熊本地震では最も大きな被害を受けました。修復に最も時間がかかったのは、機械を動かすために使われる長さ約16mのメインシャフト。修復できるところを探して、ようやく下関で修復してもらいました」と技術専門員の倉田大さん。それでも、日々メンテナンスされ動く状態を保持した機械は、平成19年に機械学会から機械遺産に認定されました。今も大きな動作音と共に日本のものづくりの歴史を伝えています。

歴史を受け継ぎ 未来につなぐ



今回ご紹介した「五高記念館」「化学実験場」「工学部研究資料館」「表門(赤門)」は、熊本地震で大きな被害を受けました。

復旧工事に際しては、重要文化財でもある建物をどのように残し、未来につないでいくか、様々な工夫が凝らされました。

五高記念館

外壁、内壁、アーチ梁の損傷のほか、煙突8基中4基が倒壊、残り4基も破損していました。



被災

被災

復旧後

被災

工事中

見えない部分への補強で今後の災害に対応する建物に

工学部研究資料館

最も損傷が大きかった工学部研究資料館。柱のずれだけでなく内部小屋組みの斜材のはずれなどが発生しました。



被災

被災

工事中

工事中

外壁ひびわれ

柱ひび割れ

高強度の繊維シートによる壁の補強

鉄骨で建物全体を補強

化学実験場

煙突のずれや外壁ひび割れなどが発生しました。



被災



工事中



被災



工事中

表門(赤門)

比較的被害が小さかった表門ですが、れんがの目地によって最大5mmのひび割れが発生していました。

化学実験場

階段教室で感じる、かつての授業風景



DATA

現在
通常非公開

熊本大学の重要文化財の中でも、五高記念館となつて本館と同じ時期に作られたのが化学実験場です。旧制高等学校時代の化学実験場として完全な形で残っている唯一の建物で、教卓で行われる実験の様子を学生がしっかりと観察できるように、階段教室が設置されていました。また、化学実験で発生する気体を外へ排出する「ドラフトチャンバー」という装置も現存しており、当時の様子を伝えていきます。



▲化学実験場に現存最古のドラフトチャンバー
▲大きな窓から光が差し込む階段教室





開館時間 7:00～19:00
月～金(祝日を除く)

南地区
B ルポゼ

建築当時の雰囲気を残す休憩スポット

旧熊本高等工業学校の標本館として大正14年に作られた、日本のコンクリート建築の初期の建物です。現在は1階が休憩室、2階が事務室として使われています。



「ルポゼ」は学生から名前を募集したそうです！

資料クリーニングのアルバイトも募集中です！

南地区
C 文書館

貴重な資料が閲覧できます！

熊本大学・熊本地域・水俣病・免田事件関連の資料が保管されています。散逸しがちな市民活動の記録などもあり、申し込めば本物が閲覧可能。研究や論文作成などに活用されています。全学教育棟には大きな書庫があり、日々資料整理が行われています。



閲覧時間 10:30～15:30
月～金(祝日を除く)
閲覧は要予約

知る人ぞ知る文化系サークル部室棟です



北地区
D アゴラ

猫と梅とベンチと

教育学部と法・文学部の間にある広場が「アゴラ」。教育学部の学生が命名しました。毎年大きな実がなる梅や「漱石」と名付けられた猫が歩く姿が学生たちを和ませています。



ここでランチタイムを過ごす学生も多いです！



北地区
E 知命堂

ザ・大学サークル棟

「天命を知る」が語源になっている「知命」。その名前と呼ばれる知命堂は非常勤講師の宿泊施設として使われていた建物。現在は映画研究部や天文部、文芸部など、熊本大学文化部会公認サークルの部室棟になっています。



キャンパスを歩く。

特集その2

熊本大学の広いキャンパス。毎日通っている学生でも「見たことはあるけれど何があるか知らない」という場所も多いようです。特集その2では、「知らない」けれど学生に活用してほしい熊本大学のキャンパス施設を学生広報スタッフがご紹介します！



熊本大学学生広報スタッフ	
文学部 文学科3年 たいら かおり 多比良 香里	文学部 コミュニケーション 情報学科3年 すずき りお 鈴木 理桜

南地区
A 埋蔵文化財調査センター

私たちの足元の歴史がわかる！

熊本大学敷地内の遺跡の発掘調査、土器の接合など整理作業を行っています。これまでに発掘された縄文時代から近代までの遺物も展示されています。発掘された貴重な女性の縄文人骨についても知ることができます。

縄文人骨がなぜ「女性」とわかるのか。知りたい方は、埋蔵文化財調査センターまで！遺物接合のアルバイトを募集することも！



開館時間
9:00～17:00
月～金(祝日を除く)

黒髪キャンパス

北に文学部・法学部・教育学部、南に理学部・工学部があるキャンパス。文化財もたくさんあります！





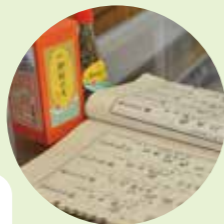
ホールの薬草壁画は本物の薬草をプレスして焼き上げたもの。必見です！



A 熊薬ミュージアム(宮本記念館)

薬学と薬学部の歴史をたどるミュージアム

薬学部で使われていた教科書や卒業生の業績などもわかる展示があります。日本に二つだけの官立薬学専門学校だったこともあり、貴重な資料もたくさん。ふりかけの元祖とも言われる「御飯の友」も卒業生による商品。三角フラスコ型の容器が薬学部らしいですね。



「絵具も薬も天然物が使われている」「研究も芸術も自分の発想から新しいものを作り出す」と聞いて納得！



閲覧申込などはこちらから



C 産業イノベーションラボラトリー

フェルメールを見ながら薬学を学ぶ環境

ベンチャー企業の創出や民間企業との研究支援を目的にした施設です。1階には「薬草ミュージアム」があり、世界各地から集められた生薬の標本が展示されています。もう一つの大きな特徴は絵画や彫刻などのアート作品も展示されていること。特にフェルメールの「リ・クリエイト」作品は最新技術で明かされた当時の色彩を再創造したものです。所蔵美術館と同じ額装にした原寸大作品が37点展示されています。

大江キャンパス

歩くだけでも楽しい！薬学とアートが学べるキャンパス



園内はいつでも自由に散策可能ですが、定期的に薬草パーク観察会を開催しています。今年は7月9日(土)、10月15日(土)に開催予定です！



薬草パーク観察会についてはこちらから



B 薬用植物園

こんなものも薬になる！驚きがある薬草園

薬学部の前身である旧官立熊本薬学専門学校時代に設立されました。長く薬草として使われてきた1500種あまりの植物が今も栽培されています。細川藩の薬園「蕃滋園」に由来する貴重な植物もあります。いつも食べている野菜もあり、歩くだけで驚きの連続です。

本荘キャンパス



熊本の医学教育、生命科学的研究、医療を支える本荘キャンパスで、医学の歴史も学べます！



開館時間 10:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)
休 館 土曜・日曜・祝日・お盆期間・年末年始



B 肥後医育ミュージアム

熊本大学医学部の歴史が全部わかる！

医学部の歴史だけでなく、細川藩からつながる熊本の医学の変遷がわかる文献資料や医療器具などが展示されています。多くの方が医療の発展のために力を尽くして今がある、ということが伝わる貴重な資料もたくさんあります。

私たちが受けている教育は本当に貴重！
がんばろうという気持ちになりました！



A 山崎記念館

建物を見るだけでも楽しい！ 本荘キャンパス最古の建物

熊本の医学教育、医学の向上に貢献し熊本医科大学長を務めた山崎正董教授^{やまきまさただ}を記念して、旧熊本医科大学図書館として建てられた建物。明治・大正期の重厚な雰囲気と昭和初期の優美な建築様式が融合し、有形文化財にも登録されています。現在は会議室や研修室として利用されています。



一般公開はしていませんが
外観はいつでも見られます

館内には山崎教授の銅像も

工学部機械数理工学科バイオエンジニアリング研究室

中島 雄太 准教授

NAKASHIMA Yuta

機械工学の技術で作ったデバイスで医療・健康分野に貢献



先生から一言！

機械工学の技術を医療分野に応用

この研究室では、機械工学の技術を医学や薬学に利用することを目指した研究を行っています。私自身、学生時代から、機械の技術を医療などのバイオ分野に活用できないかということに興味があり研究を続けてきました。今は、具体的には、マイクロナノ工学や微細加工といった技術をベースにして作った小さなデバイスを使って、細胞を培養したり、血液を分析したりしています。

学生の研究も医工連携をテーマにしたものが多いです。最初は車や飛行機などに興味があり、医療機器や細胞を扱うことに抵抗がある学生も多くいるので、医療や健康分野の魅力を伝えるようにしています。言われたことだけをするのではなく、自分で考え行動できる学生を育てていきたいですね。

大学院先端科学研究部(工学系)
なかしま ゆうた
中島 雄太 准教授



うちの研究室自慢

■ 研究室の特徴

- ① 学生主体のゼミ
ゼミは、学生が交代で進行しています。それぞれの発表内容について学生が活発に発言することで、明るい雰囲気ができています。
- ② 工学部なのに、医療・健康分野!? 分野を超えた研究
特任助教の西東洋一先生は病気の原因を解明したり、病気の診断を確定したりする病理専門医。「医工連携」で、分野にとらわれない研究ができるのが自慢です。

■ 主な就職先

パナソニック(株)、テルモ(株)、本田技研工業(株)、マツダ(株)、東京エレクトロン九州(株) など



本格的な細胞培養ができる設備が整っています



教員、所属メンバー同士の距離が近く、明るい雰囲気の研究室です

先生と学生から一言！

研究室に所属している西東先生と学生に研究の魅力を聴きました！

学部の違いは気にしない、分野が違っても研究は制約されない



大学院先端科学研究部
さいとう よういち
西東 洋一 特任助教

どうして工学部へ？

工学部に医師がいることは、他大学ではそんなに珍しいことではありません。私が熊本大学の第一号になればと思います、やって来ました。

工学部に来て細胞や血液を扱うと、思っている学生は、まずいかないでしょう。しかし、学生の皆さんには、学部の垣根を気にしないでほしいと思っています。学部が違ってもやってほしいかな、なんてことはないんですよ。

どんな研究を？

再生医療材料の研究をしています。マクロファージという免疫細胞をコントロールして、皮膚や臓器にできた傷を早く治す材料を作れないか、と考えています。

学部の垣根を超えた研究ができる環境をつくりたい



大学院自然科学教育部
博士後期課程
機械数理工学専攻1年
あかいけ まみ
赤池 麻実 さん

どんな研究を？

本荘キャンパスの発生医学研究所と脳の発生に関する共同研究を行っています。脳の細胞にかける圧力を測るデバイスがほしいと発生医学研究所から依頼があったことがきっかけで、今はそのデバイスを作っています。

周りには薬学や病理の研究をしている学生がいます。学部の垣根を超えた研究ができるのが良いところだと感じています。

将来は？

自分のラボを持ち、学部の垣根を超えた研究ができる環境を作りたいと考えています。その夢に向け、現在は研究力を身につける修行中です。

中島先生は、尊敬できる先輩のような距離の近い存在



大学院自然科学教育部
博士前期課程
機械数理工学専攻2年
そのだ けいと
園田 啓人 さん

どんな研究を？

臓器を作る研究をしています。ガラス基板の上に心筋細胞を置いて培養させると、心筋シートという二次元のシートができます。二種類の細胞を培養する研究は、すでに多くの方が取り組まれているのですが、本物の心臓に近づけるために、細胞の種類を増やした研究を行っています。

研究室の良いところは？

先輩後輩関係なく、気軽に話ができる場所です。中島先生も尊敬できる先輩のような距離の近い存在です。研究のときは真面目ですが、研究以外では一緒にふざけ合うこともありますよ。

文 恩師の言葉を胸に、 生徒の伴走者として共に成長していきたい



西本 紘大

NISHIMOTO Kodai

私立ルーテル学院中学・高等学校 教諭(熊本県)

文学部歴史学科 平成27年3月卒

平成4年生まれ。鹿児島県鹿児島市出身。鹿児島県立甲南高等学校出身。大学で再開した少林拳法を今でも続けており、勤務校にも少林拳法部を新設しました。趣味はゴルフ、サウナ巡りです。

私のおすすめスポット

緑豊かなキャンパスと、安くておいしい学生食堂。

人に教えることが楽しく、世界史の教員を志した

高校生のころから世界史の教員になることを志していました。人に何か教えるということがとても楽しかったので、教員になるという夢に迷いはありませんでした。また、大学では歴史を専門的に学び、教科書や資料集に載っていない内容の世界史を知りたいと考えていました。

歴史の見方を変えることで、世界史の新たな側面を学んだ

1〜3年までは体育会少林拳法部に所属し、ひたすら練習に打ち込みました。交友関係も広がりました。学業面では、所属研究室の先生方やメンバーに恵まれ、研究室での活動はとても充実していました。歴史の見方を変えることで、今まで知ることのなかった世界史の新たな側面を学ぶことができました。

歴史が苦手な生徒に、分かりやすく説明することを心掛けている

ルーテル学院中学・高等学校に勤務しています。歴史を苦手としている生徒が多いので、分かりやすく説明することを心掛けています。「希望の種を蒔こう!」という恩師の言葉を胸に、生徒一人ひとりの人生にとって重要な時期に関わっていることに責任を持ち、生徒の伴走者として共に成長していきたいと思います。

理 高校生のころの夢をかなえることができ、 充実した教師生活を送っています



盛岡 ゆい

MORIOKA Yui

東海大学付属熊本星翔高等学校 教諭

理学部理学科 平成24年3月卒

自然科学研究科博士前期課程数学専攻 平成26年3月修了

平成元年生まれ。福岡県北九州市出身。福岡県立北筑高等学校卒業。熊本大学への入学をきっかけに熊本人に。大学を卒業する際に、自分の研究成果を残したいと思い、大学院進学を決めました。

私のおすすめスポット

立山山。学生のとき何度走りに行ったか...

恩師の一言で理系へ。数学教師に憧れるようになった

高校1年のときは小説を書きたかったのですが、文学部に進学しようと思っていました。文理選択のときに、当時数学を教えてくれた先生から「お前は理系だ!」と言われ、仕方なく理系に...。しかし、「教師は誰かの人生に影響を与える素晴らしい仕事だ」、「数学が好きだ」ということから数学教師に憧れるようになりました。

部活動中心の学生生活。生活費のため、アルバイトもたくさんしていた

体育会バドミントン部に所属し、部活動中心の学生生活でしたが、その中でも自分の生活費を稼ぐためにアルバイトをたくさんしていました(喫茶店、居酒屋、塾、家庭教師...)。そのおかげで、学生時代に多くのことを学べました。修論の時期は、自分が求めている結果が出るまでパソコンにとらめっこをしていました。

数学教師になり、受験指導、バドミントン部の指導をしている

大学院修了後、県内の私立高校で1年間非常勤講師をして、現在は東海大学付属熊本星翔高等学校で数学教師をしています。自身の経験をもとに受け持っているクラスの受験指導、バドミントン部の指導にあたっています。高校生のころの夢をかなえることができ、毎日充実した教師生活を送っています。

医 産婦さんに寄り添い、 全力でサポートしていきたい



濱北 薫

HAMAKITA Kaoru

福田病院 看護部(熊本県)

医学部保健学科看護学専攻 平成29年3月卒

平成5年生まれ。熊本県長洲町出身。私立真和高等学校卒業。中学・高校は吹奏楽部に所属し、部活明けの日々でした。趣味は、ジムでのトレーニングと温泉巡りです。

私のおすすめスポット

本荘南キャンパスの周りには、安くておいしい弁当屋がいっぱい!

母親から自分が生まれたときの話を聞き、助産師を知った

高校生のころは、漠然と医療職に就ければと思っていました。母から自分が生まれたときの話を度々聞き、助産師という職業を知りました。調べていく中で、生命の誕生に関わる仕事の尊さを感じ、助産師を目指そうと思うようになりました。

協力し励まし合いながら課題を乗り越えた、大切な仲間

水泳部のマネージャーになり、大会へ行ったら先での観光も楽しみでした。4年になると、看護の実習、助産の授業と実習も始まり、慌ただしい日々でした。グループワークの授業も多く、皆で協力し励まし合いながら課題を乗り越えてきました。今でも集まったり、連絡を取り合ったりする大切な仲間に出会うことができました。

分娩室に勤務、無事に赤ちゃんが産まれた瞬間がとても幸せ

現在は分娩室で勤務しています。産婦さんと赤ちゃんの二つの命を預かる責任の重さにくじけそうになることもありましたが、無事に赤ちゃんが産まれた瞬間はとても幸せで、また頑張ろうと思えます。現在はコロナ禍でご家族が立ち会っての出産が難しい状況ですが、私たちが産婦さんに寄り添い、全力でサポートしていきたいと思っています。

法 日中の架け橋になる会社を 目指していきます!



楊 鑫

YANG Xin

学進教育株式会社 CEO(東京都)

上海学進教育科技有限公司 CEO

長沙桜時教育科技有限公司 CEO

法学部法学科 平成22年3月卒

1985年生まれ。中国大連出身。2004年来日。2006年熊本大学に入学。日本の多くの方にサポートをしていただきながら、日中間のビジネスを展開。母校や第二の故郷・熊本、日本社会へ恩返しをしたいと考えています。

私のおすすめスポット

おしゃれなお店が多い上乃裏通り。

日本を中心に世界中を飛び回る仕事をしたいと思っていた

海外文化に興味があり、将来は国際的な仕事をしたいと考えていました。また、私の故郷大連は日系企業が多く、日本語を学べる機会もあったため、日本を中心に、世界中を自由に飛び回る仕事をしたいと思っていました。

中国とは異なる文化等に接しようと、積極的に社会活動に参加

中国とは異なる文化や習慣、言語、価値観、環境に接しようと、積極的に社会活動に参加してきました。コンビニ店員や中国語講師のアルバイト、裁判通訳のボランティア、国際交流イベント、日本企業のインターシップ等、様々なことを体験しました。日本人と触れ合う機会を増やすことで、充実した大学生活を送れました。

日本と中国で会社を運営。留学経験を活かしながら働いている

現在は学校運営、日本語教育、日本留学、日中間学校交流の業務を中心に、東京に1社、中国に2社の企業を持っています。日本人の職員も多く、これまでの留学経験、語学力を活かしながら働いています。中国での日本語の普及、日中の学校及び学生間の国際交流、人手不足分野の協力を中心に、日中の架け橋になる会社を目指していきます!

薬 治療薬がなく苦しむ患者さんに 画期的な新薬を届けたい



嘉村 美里

KAMURA Misato

第一三共株式会社(東京都)

薬学部創薬・生命薬科学科 平成27年3月卒

大学院薬学教育部博士後期課程創薬・生命薬科学専攻 令和2年3月修了

平成4年生まれ。佐賀県佐賀市出身。佐賀県立致遠館中学校・高等学校卒業。中学、高校とテニス部で部活動にまい進し、今でも実業団のテニスの試合に参加しています。

私のおすすめスポット

食堂のFORICO。友達とよくおしゃべりしていました。

明確なビジョンはなかったが、関心のあることで貢献したいと思っていた

高校時代は勉強と部活、目の前のことに一生懸命で、将来への明確なビジョンはあまりなかったと思います。化学や生物が好きで、「生命の不思議」や「未知の発見」といったワードにひかれていました。「関心のあることで世の中に何か貢献したい」という思いが「薬学」という選択につながったのだと思います。

プライベートも研究も充実していた大学時代

3年で研究室に配属されるまでは、サークル活動やアルバイト、友達との旅行など自由な時間を謳歌していました。研究室所属後は、先輩・後輩、先生方が家族のような存在で、実験などで忙しいながらも楽しく充実した研究生活を送っていました。

創薬のコンセプト立案から非臨床モデルでの検証に従事

現在は製薬会社の研究職として働いています。特に創薬のコンセプトの立案から非臨床モデル(ヒト)に投薬して試験する前段階のモデル)での検証に携わっています。大学で難病の研究をする中で「治療薬がなく苦しむ患者さんに画期的な新薬を届けたい」という思いが強くなり、現在、その目標をよりリアルに描くようになりました。

工 夢だった自動車に関わる仕事に就き、 充実した毎日を送っています



上村 怜矢

UEMURA Ryoji

アイシン九州キャスティング株式会社(熊本県)

工学部マテリアル工学科 平成29年3月卒

平成4年生まれ。熊本県出身。熊本県立熊本高等学校卒業。現在2人の子どもの子育てに奮闘中。マイホームを持つのが夢。

私のおすすめスポット

1階は定食屋、2階はバーの「林田」!ほぼ毎日入り浸ってました。

生活に欠かせない自動車に関わる仕事に就きたいと思っていた

高校時代は理系分野の科目が好きで、自動車に興味があり、よく車雑誌を買って読みあさっていました。外に出て自動車を見なかった日はないほど、自動車は生活において欠かせないものの一つです。将来は、生活必需品の自動車に関わるような仕事に就きたいと思っていました。

九州大学との合同研究報告会で刺激を受けた

友人、先生、環境全てにおいて恵まれた大学生活でした。大学卒業後、県外に行ってしまった友人との付き合いは今でもあります。研究室に配属されてからは、合金の特性について研究していました。九州大学の学生との合同研究報告会もあり、とても刺激を受け、有意義な経験になりました。

自動車のエンジン部品を生産する工程設計・改善等を担当

現在は、アイシン九州キャスティングで生産技術職として働いています。主にトヨタ・レクサスのエンジン部品を生産している会社で、私は生産の工程設計・改善等を行っています。夢であった自動車に関わる仕事に就くことができ、入社してから今までとても充実した毎日を送っています。



本学の卒業生たちの今に迫る「卒業生ジャーナル」。

熊本県内はもとより、国内外で活躍している先輩たちの様子を、これまでの歩みや苦勞、そして喜び、楽しみなどを通じてご紹介します。

教 「自分も相手も大切にできる」を軸に、 子どもたちと一緒に成長していきたい



河添 詩織

KAWAZOE Shiori

熊本市立画図小学校 教諭

教育学部小学校教員養成課程 平成23年3月卒

大学院教育学研究科修士課程教科教育実践専攻 平成25年3月修了

昭和62年生まれ。熊本県熊本市出身。熊本県立清々養高等学校卒業。趣味は、楽器を演奏すること、ランニングをしながらのおしゃべり。

私のおすすめスポット

大学周辺には、安くておいしい飲食店がたくさんあります。

小学校の教員だった父の影響で、人と関わる仕事がしたかった

小学校の教員をしていた父の姿から、自分も「人と関わる仕事がいい」と漠然と思い描いていました。高校で将来について考える時間があり、そのときに「小学校の先生になりたい!」と思うようになりました。クラスや部活で皆と協力して活動することが楽しく、大人になってもこんな経験をしたいと思い、教育学部を目指しました。

仲間と何かをやり遂げる楽しさや厳しさを知った学生生活

学部の1〜3年までは体育会吹奏楽部、4年では体育会本部の役員として様々な経験をさせてもらいました。尊敬できる先生方や友人と出会い、朝から晩まで充実した時間を過ごしていました。仲間と何かをやり遂げる楽しさや厳しさも知り、本当に周りの人に恵まれた学生生活だったなと思います。

子どもたちと過ごす日々には、大きな感動がある

初めて「先生」として教壇に立った時のことは、今でも覚えています。自分の理想と現実の違いに悩むこともありましたが、それ以上に子どもたちと過ごす日々の中には、大きな感動がありました。私の学級経営の軸は「自分も相手も大切にできる」です。これからも子どもたちと一緒に成長していけるよう、励みたいと思います。

REPORT 有用植物 × 創薬システムインテグレーション拠点推進事業 (UpRod) の最終成果報告会を実施しました

3月31日に薬学部において「有用植物 × 創薬システムインテグレーション拠点推進事業 (UpRod)」の最終成果報告会を開催しました。

同事業は、平成29年8月に文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラムとして採択され(年間約2億円×5年間)、植物や海洋生物、微生物などの天然資源から、革新的な医薬品や健康社会づくりに役立つものを産み出すプログラムです。5年にわたる事業の軌跡を振り返り、その成果を活かした熊本オリジナルの天然物もの・こと作り事業におけるグローバル天然物科学研究センターの役割、及び、大学発プラットフォーム型ベンチャー「株式会社C-HASプラス(代表取締役、菊池正彦氏)」の設立についても紹介し、マスコミ各社や多くの関係者が集まって実施されました。



薬学部宮本記念館で行われた報告会の様子

UpRod事業の特徴と今後の継承についてまとめたPR動画→



REPORT 第122回日本外科学会定期学術集会在熊本で開催されました

4月14日から16日にかけて、熊本城ホールにて第122回日本外科学会定期学術集会在開催されました。本学大学院生命科学部消化器外科学講座が学術集會事務局を務め、2年ぶりとなる現地開催とオンラインを融合させた初のハイブリッド開催となりました。

特別企画として、「外科学の未来を拓く」と題して10のセッションが開催されたほか、宇宙飛行士やトップアスリートなど、外科分野だけでなく異業種でのトップランナーによる講演が行われました。会頭を務めた馬場秀夫教授からは、講演の中で未来を拓く外科医へ向けたメッセージが語られました。また、「知っておきたい外科学の最新トピックス」と題した動画の配信や、会期終了後、全てのセッションのアーカイブ配信や市民講座の配信が行われました。



オープニングムービーとダイジェストムービーが掲載されているYouTubeチャンネル→



REPORT 第4回アジア・太平洋水サミットにて分科会の共同主催機関を務めました

4月23日から24日にかけて熊本城ホールで開催された第4回アジア・太平洋水サミットにおいて、本学が分科会9「地下水を含む健全な水循環」の共同主催機関を務めました。分科会では、アジア太平洋地域の代表により採択された熊本宣言を受けて、国内外の関連機関と共に知見の共有と議論を行い、今後、取り組むべき行動についての提言をまとめました。

本分科会においては、熊本の事例を含め、アジア太平洋地域における水循環の現状・地域特性を踏まえた上で、「質の高い社会を構築するための健全な水循環の維持・回復」をテーマに議論がなされました。進行は小川久雄学長の開会挨拶から始まり、くまもと水循環・減災研究教育センター地下水循環部門の川越保徳部門長がモデレーターを務め、同所属の石田桂准教授がプレゼンターの1人を務めました。

今後も熊本の水循環を核とした研究を推進し、その成果を熊本及び国際社会に還元していきます。



熊本城ホールで行われたセッションの様子

REPORT 「ものづくりフェア in くまもと花博」を開催しました

3月19日から5月22日にかけて熊本県内で開催された第38回全国都市緑化くまもとフェア「くまもと花とみどりの博覧会」のワークショップイベントとして、本学教育学部が「ものづくりフェア in くまもと花博」を開催しました。

5月8日に「まち山エリア」、21日に「街なかエリア」にて開催し、県産の木材を使った「円形木琴」や「木のミニカー」、「杉のキューブの一輪挿し」、「桧のくまもストラップ」など、子どもたちや一般市民のものづくりを教育学部の学生たちが手伝いました。参加した子どもたちからは「木のいい香りがする」、「妹やお母さんへのプレゼントにしたい」などの感想が寄せられました。

今後も本年度中に5地域(長洲町・熊本・八代・人吉・天草)で、本学主催のものづくりフェアを実施する予定です。



木のミニカーづくりを教える教育学部の学生

REPORT フロンティアデータサイエンス化血研寄附講座を設置しました

4月1日付で、一般財団法人化学及血清療法研究所(化血研)からの寄附に基づき、国立研究開発法人理化学研究所から3名のデータサイエンス研究者を招聘し、「フロンティアデータサイエンス化血研寄附講座」を学長直轄組織である大学院先端機構に設置しました。

同講座では、データサイエンスによる教育研究と社会貢献を目的とし、次の3つの課題に取り組みます。

- ・健康の科学・物質材料分野におけるデータサイエンスの社会実装
- ・物理・化学・生物の計算科学に根ざした新しいデータサイエンスの展開
- ・量子論と圏論に基づくデータサイエンスの方法論の先鋭化

4月18日に本学で寄附講座設置に関する記者会見を開き、小川久雄学長、大谷順理事、化血研の木下統晴理事長から挨拶及び寄附講座の概要説明が行われた後、講座の代表を務める中村振一郎特任教授による研究内容の説明がありました。



前列左から、大谷理事、小川学長、木下理事長、中村特任教授

REPORT 感染症対応実践学寄附講座を設置しました

4月1日付で、熊本県からの寄附に基づき、熊本大学病院に「感染症対応実践学寄附講座」を設置しました。

同講座は、熊本県の人口10万人当たりの感染症専門医数が全国平均より下回っている状況を受け、熊本県全域で感染症に対応できる医療体制の連携・強化を図ることを目的として設置されました。

5月9日には、小川久雄学長、馬場秀夫病院長、松岡雅雄副病院長(診療活動担当)、坂上拓郎病院長特別補佐(感染対策担当)及び中田浩智感染制御部長が熊本県庁を表敬訪問しました。同講座では、今後5年間で9名の感染症専門医を育成し、その人材を熊本県全域へ派遣することとし、併せて、県内各地域における医療現場の最前線に立つ医療従事者の人材育成を目的としたリカレント教育を実践することにより、熊本県におけるゆるぎない医療体制の確立へつなげていくことを目標としています。



前列中央から、蒲島県知事、小川学長、馬場病院長、松岡副病院長
後列左から3番目が坂上病院長特別補佐、4番目が中田感染制御部長

REPORT 熊本経済同友会と包括的連携協定を締結しました

5月9日に熊本経済同友会と包括的連携に関する協定調印式を行い、小川久雄学長と、熊本経済同友会の笠原慶久代表幹事により協定書への署名が行われました。

本協定では、両者が、教育、研究、産学・地域連携及び人材育成等について、相互に協力し、双方及び地域全体の産学連携による「新たな価値共創」及びイノベーションによる「地域の持続的発展」に寄与することを目的としています。

本学の教育・研究等の成果を活かし、地域社会の持続的な発展や、次世代地域を担う人材の育成を目指します。



前列左から、小川学長、笠原代表幹事

REPORT 半導体研究教育センター開所式を開催しました

5月17日に大学院先端科学研究部附属半導体研究教育センターの開所式を開催しました。

4月1日付で設置された同センターは、最先端の半導体分野の長期的・複合的課題に関わる研究開発を推進し、産学官共同研究や国内外の研究機関・企業との連携に取り組む体制を構築するとともに、多くの有能な人材を継続的に輩出することで、国際的認知度の向上及び地域・社会、とりわけ熊本県に大きく貢献することを目的としています。

開所式では、小川久雄学長、青柳昌宏センター長の挨拶の後、表札の前で記念撮影を行い、センターの発足を祝いました。



左から、清水副学長、大谷理事、小川学長、青柳センター長、連川研究部長

熊本大学基金へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

No.58 (令和4年2月1日～令和4年4月30日)

卒業生の皆様、在学生の保護者の皆様、法人・団体の皆様、本学の退職者及び教職員の皆様から、これまでに約17億868万円(令和4年4月30日現在)のご寄附をいただき、研究・教育に資する事業に取り組みさせていただきました。皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

今号では、令和4年2月1日から4月30日までの間に入金を確認させていただきました個人113名、5法人・団体の寄附者すべての皆様へ感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。公開を希望されない寄附者の皆様につきましては、掲載しておりません。

また、万一お名前に記載漏れがある場合は、誠に恐縮ではございますが、基金事務室(電話:096-342-2029)までご連絡ください。皆様の更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

基金の取組事項については、基金ウェブサイトに掲載しております。
熊本大学基金ウェブサイト <https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp/>



熊本大学基金 検索

1. お名前・寄附金額の掲載

(寄附金額別、五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。) ※()内の数字は、累計寄附金額(万円)です。

<熊本大学基金>

【20万円】	西山 弘樹(23)	宮尾 千加子(20)				
【5万円以下】	田村 安都子(5)	福岡 純子(1)	藤村 重利(6)	宮本 真次(5)	村上 健太郎(15)	本島 昭男(26.5)
	熊本大学医学部医学科後援会(1733)					

2. お名前のみ掲載

(五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。) ※[]内の数字は、累計寄附回数(回目)です。

<熊本大学基金>

荒井 澄子[9]	有光 由美	出田 剛明	白杵 良資[3]	大井 浩史[4]	岡本 三保子[2]	奥村 恵一郎[5]	甲斐 重武[5]
金光 琴子	神山 憲次郎[4]	川口 叫[4]	神崎 芳郎[10]	北山 洋一[3]	木村 純久[9]	清田 信照[4]	黒田 幸満[2]
児倉 静二[13]	斉藤 和人[3]	佐々木 信生[5]	重浦 睦治[5]	高宗 俊雄[7]	鶴田 敬一郎	中原 雅彦	中村 浩一[6]
長吉 温子	西 武宜	袴田 和泉	橋本 司[2]	濱端 正之[3]	東 伸久	平川 大希	福田 浩一
古川 允一[2]	星野 純一[5]	星野 誠一	真佐喜 彰[7]	松崎 孝徳	松田 亨[8]	松平 嘉明[9]	水島 多美也
向 和典	森 浩平[3]	安永 澄男[6]	矢野 友章	矢原 幸治[5]	山崎 浩隆	吉原 徳穂[2]	渡辺 清吉[5]
渡辺 素文	渡邊 陽仙	一般財団法人恵和会[5]		一般社団法人インフォカート未来基金			

3. お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人52名、2法人・団体

REPORT

教育学部美術科の学生が「望洋閣」の壁画を制作しました

3月19日に、天草市下田温泉のホテル望洋閣で、教育学部美術科の松永拓己教授のゼミの学生が制作した壁画がお披露目されました。このプロジェクトは、ホテルからSNS映えのするスポットを作りたいという相談を受け、熊本大学と株式会社肥後銀行との包括連携協定をもとに実現した取組です。

松永教授と学生4名は、3月14日から泊まり込みで制作に励み、6日間かけて完成に至りました。トリックアートによる、2次元(絵の世界)と3次元(現実世界)がつながる作品となっています。途中、強風や雨のアクシデントに見舞われる中、ホテルスタッフの皆さんに支えられながら、コバルトブルーやターコイズが織り交ざった海と空の色、飛び立つ白鷺や生き生きとしたイルカの姿を描いています。

学生たちからは、「壁画制作が初めてのことでホテルの壁を見たときに不安しかかったけど、思った以上の作品ができて嬉しい気持ちでいっぱい」という声や、「小さいキャンバスとは違い、何回も離れて確認しないといけないのが大変だったこと、誰かのために書くというのが初めてのことが地域貢献につながるというのが嬉しい」といった声が聞かれました。



題名「天草の青い空と海とイルカ達」 大きさ 縦3m×横10m

INFO

「肝がんゼロを目指して」街頭キャンペーン・市民公開講座を開催します!

■街頭キャンペーン

熊本大学病院肝疾患センターでは、7月28日の世界・日本肝炎デーに合わせて、肝疾患の早期発見・早期治療のため、無料肝炎検査や相談対応などの啓発イベントを行っています。事前申込不要で、どなたでも無料で参加できます。

【開催日時・場所】

令和4年7月3日(日) 11:00~15:00 熊本駅前広場 アミュひろば(熊本市)
令和4年7月24日(日) 11:00~15:00 サンロードシティSC イオン錦店(球磨郡)

■市民公開講座

脂肪肝、ウイルス性肝炎、肝硬変、肝がんについての病態から治療法まで、最新の情報を一般市民の方にわかりやすく講演します。

【開催日時・場所】

令和4年7月31日(日) 10:00~12:00

下記6会場にて同日同時刻に開催します。

会場:くまもと県北病院(たまきなホール)、山鹿市民医療センター(医療研修センター)、熊本大学病院(医学教育図書棟3階第1講義室)、熊本労災病院(大会議室)、天草市民センター(大会議室)、人吉医療センター(講堂)

【申込方法】

電話(096-372-1371)またはメール(kanzo.kumadai@gmail.com)にて事前申込が必要です。各会場が定員になり次第締め切ります。

【問い合わせ先】

熊本大学病院肝疾患センター
TEL:096-372-1371
E-mail:kanzou@kumamoto-u.ac.jp



ぜひ自分の「肝臓の硬さ」をチェックしてみませんか?右のサイトから簡単に計算できます。→



INFO

令和4年度熊本大学オープンキャンパスを開催します

令和4年度熊本大学オープンキャンパスは、下記の日程で開催を予定しています。

※下記日程は、対面形式で実施する学部の開催日です。一部の学部はオンライン形式でのみの実施となります。なお、新型コロナウイルスの感染状況等により、実施方法や日程を変更する場合があります。

【開催日時・場所】

令和4年8月5日(金) 本荘キャンパス
令和4年8月6日(土) 黒髪キャンパス

企画内容等の詳細については、決定次第、本学ウェブサイト(<https://www.kumamoto-u.ac.jp/opencampus/>)で改めてお知らせします。

【問い合わせ先】

熊本大学学生支援部入試課
TEL:096-342-2146
E-mail:nyushi@jimu.kumamoto-u.ac.jp

オープンキャンパス
ウェブサイト

